

# (株)マキタの事業基盤強化計画(抜粋)

## 企業概要

- 1910年の創業から100年以上にわたり、「よりよい船舶用エンジンづくり」に心血を注いでいる。
- 「船用ディーゼルエンジンの製造・サービスを通じて、海上輸送の発展・安全に貢献する」を企業理念として、船用ディーゼルエンジンの世界シェアNo.1であるドイツのMAN Energy Solutions社のサブライセンサーとして、船用ディーゼルエンジンの製造・サービスを基軸とした事業展開・環境変化に適応した事業運営を実施。
- 特に、シリンダ径300～460mmの小口径2ストロークエンジンでは、世界のトップシェアを獲得している。



## 計画の概要

- 昨今の環境対策への社会的要請を踏まえ、大手船会社がガス燃料に舵を切ったことから、小型主機関もガス燃料化のニーズが高まっている。このようなマーケットニーズに対応するべく、2026年度を目標に、環境対応型の二元燃料エンジン※の開発・製造を行う。  
※2種類の燃料を使用して運転できるエンジン
- また、電子制御主機関の開発から10年がたち、その普及が進んでいる。今後、更に電子制御主機関の部品に係るメンテナンスのニーズが高まることから、アフターサービスの強化に取り組み、客先のニーズを漏らすことなく受注につなげることを目指す。

<計画実施期間> 2023年8月～2028年3月

<実施場所> (株)マキタ 本社工場(香川県高松市)



Photo courtesy by MAN Energy Solutions